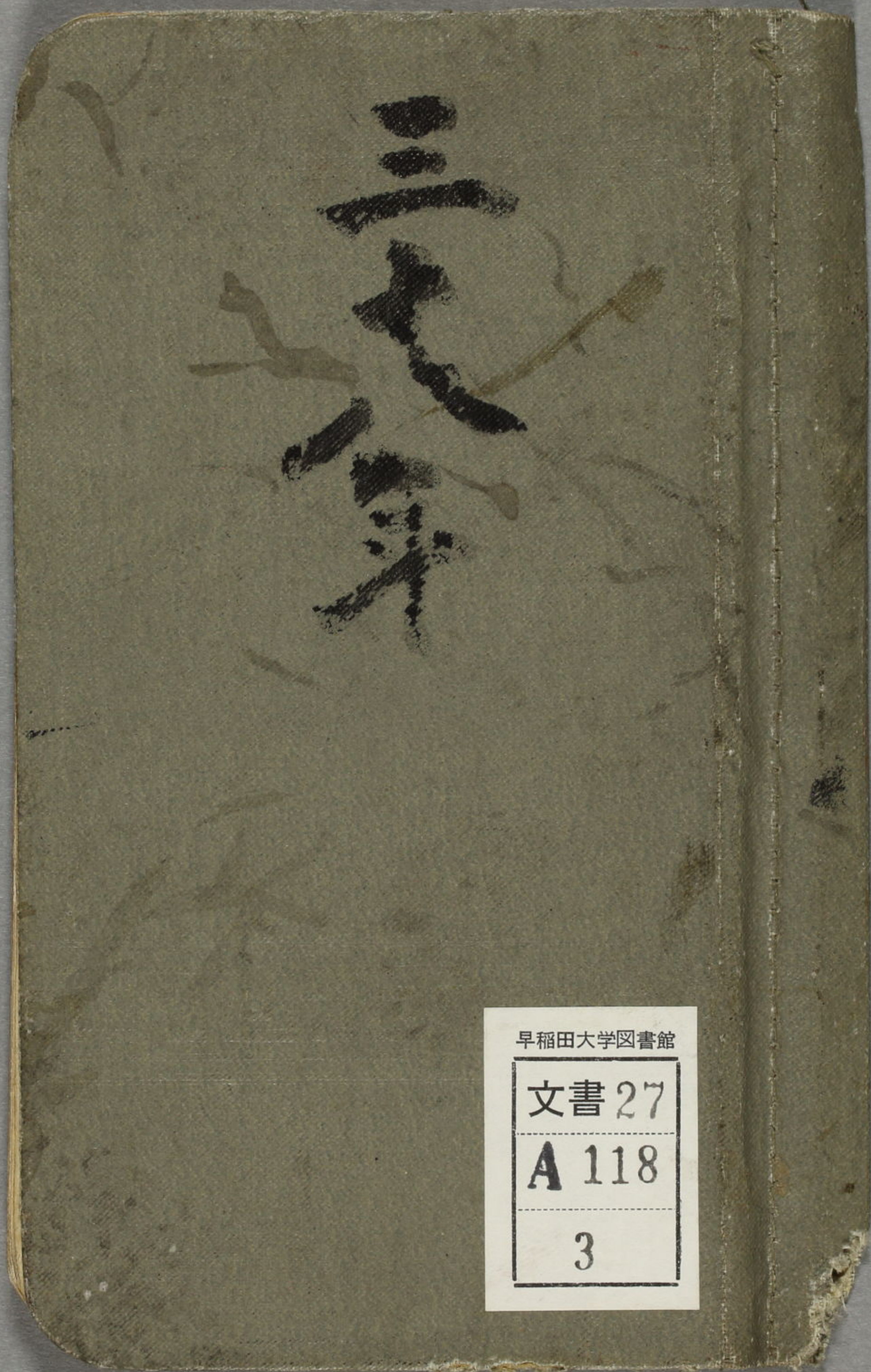




早稲田大学図書館
文書 27
A 118
3

三十八年

明治廿八年三月廿四日
重臣和論唱出レサ音露帝ハ上申セル
新節

右ハ

奉天府三月十日
追敷手十日金シ右負セルヨシ
後十九日頃開原石々

一西比理鐵道ハ

ヨリ

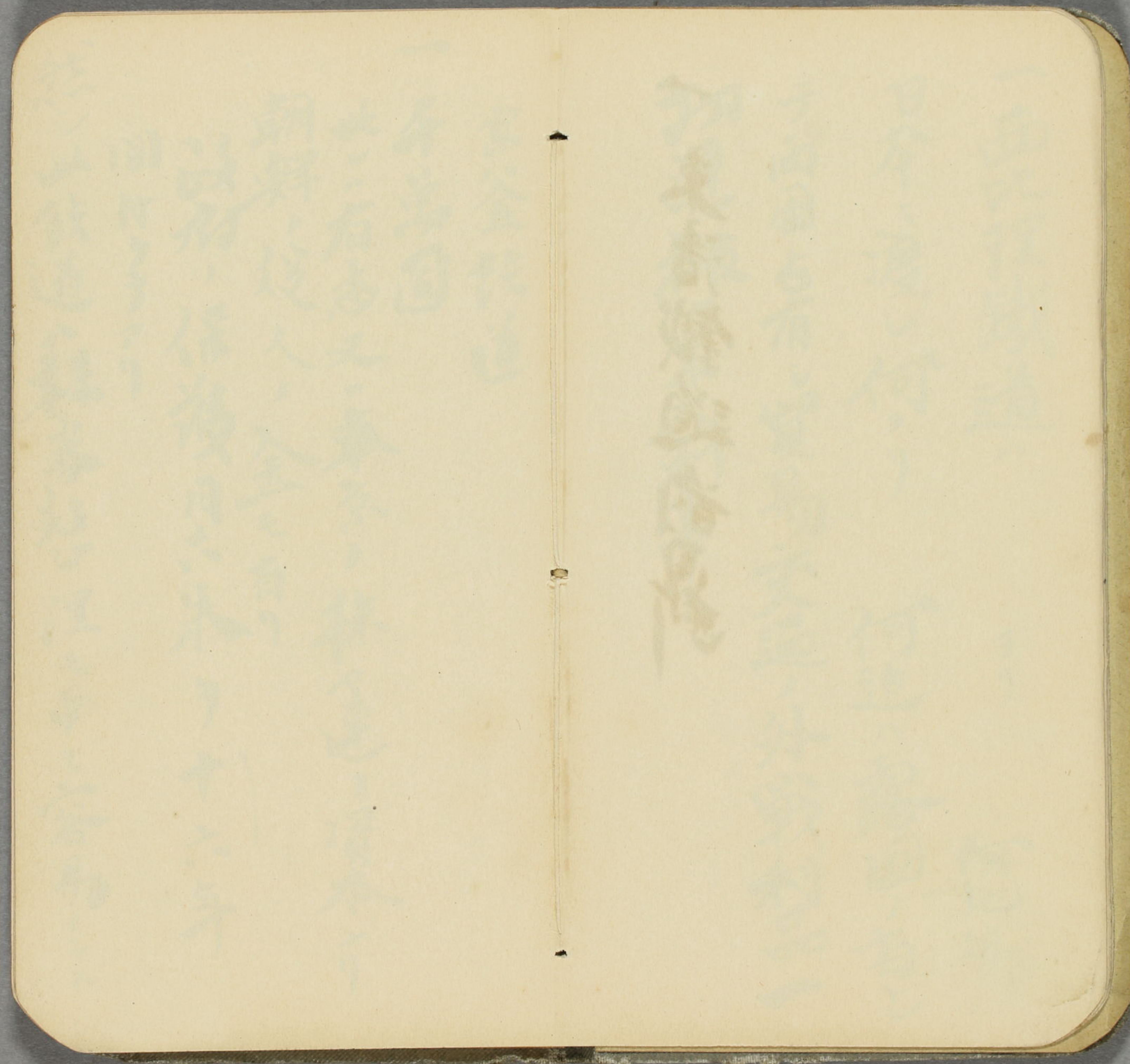
何地迄

日本、渡シ何リ

何迄ハ露國ノ有リ

テ西國占有ニ貿易交通ノ外戰利品一
切運搬ヲ不許ス

一東清鐵道前線



京釜鐵道

一千萬圓

此、有志又、奉京、株運、資本、
朝鮮、役人、金、元、有リ

政府、保護、月、六、米、ヲ、十六、年

間、付、テ、有リ

然、此、鐵道、株、券、想、理、中、之、客、易、ナ、ラ、ス

一旦政府之ヲ買ヒ上ケ其ヨリ之ヲ外國
に輸出スルヲシテ外資ヲ輸入セシムルカ又ハ
之ヲ外國に賣ルカ

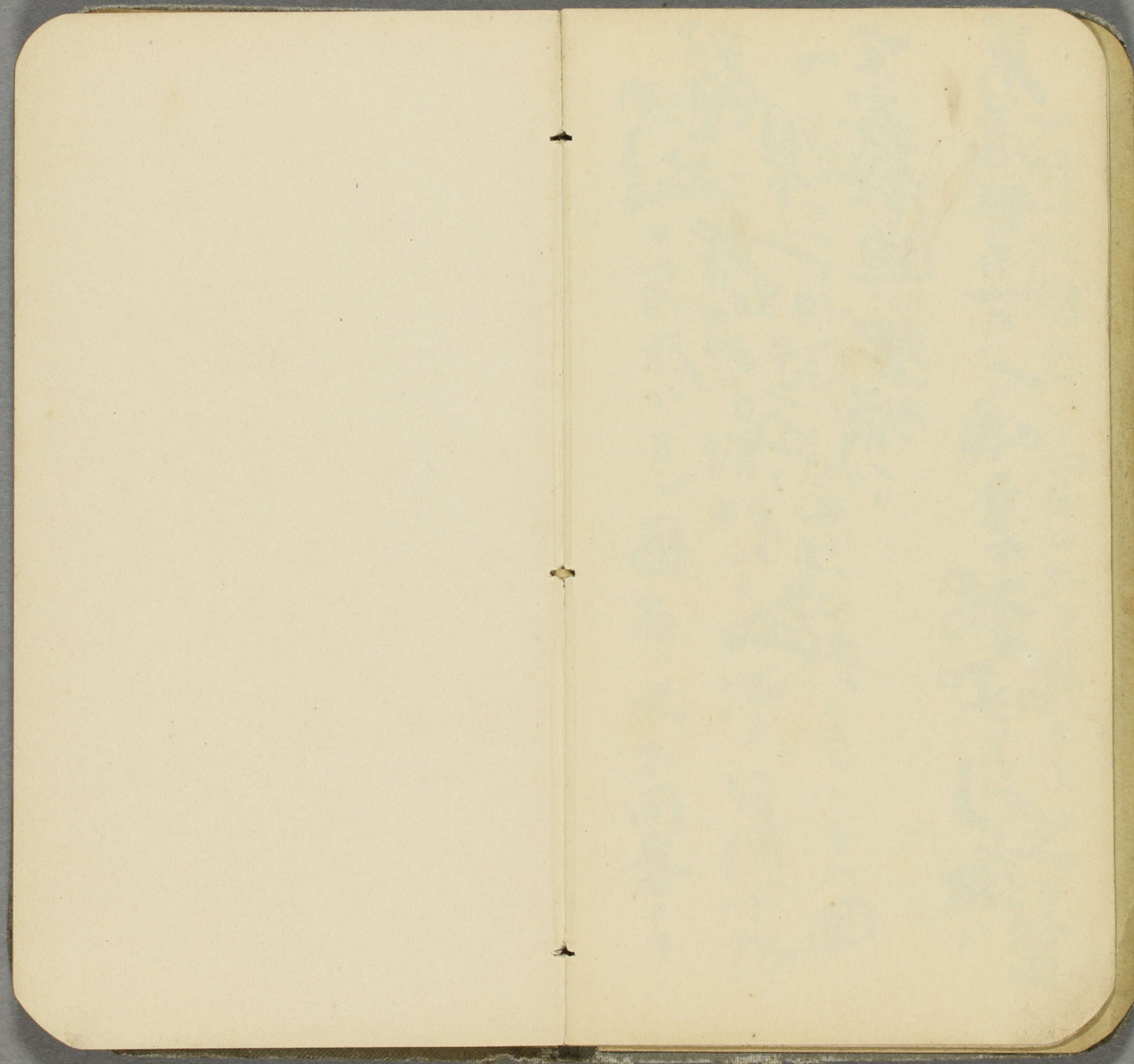
一 親之ヲ外國に引當テ公債スルトキハ國
内之公債バカリ増加シテ内地ノ公債下落
無疑。民有ハヨシ國有大不同意ナリ

あり

政府之決セザルモノ
目下一哩十站ノ利益

京義鐵道ニ官線ナリ

東清鐵道ノ一哩百二十哩ノ利益



以 下

40枚

白 紙

三五年

一增稅果可決

三月十六日

